

問 豪雨災害を受け、今後の対策と強化をどのようにしていく予定か。

答 鹿角市国土強靱化計画を定め、計画的に施策を推進している。毎年事業検証を行い、災害に強いまちづくりを進めていく。



大湯地区における洪水時の避難所について

問 大湯地区の住民の大半は、大湯川を

渡り避難所に向かう状況で、川の増水時は水しぶきが橋を越えるなど、避難行動に不安がある。また、国道103号が冠水すれば横断は不可能になる。大湯温泉総合振興プラザを洪水時の避難所にできないか。

答 大湯温泉総合振興プラザが立地する場所は、洪水浸水想定区域内にあり、避難所として適切でない。

大雨により、土砂災害や洪水等が発生する恐れがある場合には、水位が上昇する前の段階で避難していただく必要がある。早めの避難行動の重要性を強く呼びかけていく。

中小河川の堆積土砂対策について

問 河川内に土砂が堆積し、アシや樹木

が繁茂している。堆積物の撤去により災害が起こりにくくなると考えるが、今後の維持管理計画は。

答 河川を計画的に管理するため、土砂の堆積や護岸の整備状況などについて河川ごとの現状調査を行い、河川の維持管理計画を作成する。

質問した項目

- 災害対策について
- 新型コロナウイルス対策について
- 自殺問題について
- 子育て世代への支援について
- 産婦人科について



録画配信はこちらから

湯瀬 弘充 議員（鹿真会・公明）

質問時間 30分

問 本市の総人口は昭和30年をピークに減少を続けている。市のこれまでの取り組みは。

答 全国に先駆けた定住化促進条例や、県内トップクラスの子育て支援の充実を図ってきた。人口構造の若返りを図り持続可能な地域社会の実現を目指す。



花輪稲村橋から八幡平川部橋間の健康ロードの整備と安全利用について

問 大雨や米代川の増水で路面が剥がれ

危険である。今後の補修計画は。

答 8月の大雨による米代川周辺の被災箇所は、健康ロード以外にも河川護岸や農業用施設の被災が確認されたため、河川管理者など関係機関と協議が整い次第、速やかに復旧工事を進める。

企業誘致の取り組みと働く場の確保対策について

問 市が実施している支援や取り組みは。

答 産業団地やまちなかオフィスの整備のほか、企業立地助成金による支援などにより、この5年間で4社の企業誘致を実現しており、今年度からは、情報サービス産業やエネルギー関連産業などの誘致に向け、支援内容を拡充しながら誘致活動を展開している。

また、新たに民間事業者と締結した「民間複業人材活用に関する連携協定」により、効果的な企業誘致活動のために必要な市場分析や戦略設計、施策の検討を行い、さらなる企業誘致の実現に向け、引き続き、積極的な取り組みを行う。



録画配信はこちらから